

一 般 演 題

座長のまとめ(演題1~4)

星 博昭

(宮崎医大・放)

演題1から演題3までは、それぞれ新しい固相法 radioimmunoassay を用いた抗 microsome 抗体, 抗甲状腺膜抗体, 抗ヒト thyroglobulin 抗体測定法についての報告である。Intra assay および inter assay の C.V. 値は約 10% 程度であり, 従来行われてきた方法より高感度で絶対値の測定が可能であると報告された。本法はモノクロナル抗体製作にも有用となるであろう。

演題4は、Prolactin を RIA 法により測定する際、検体のゲルろ過を行い heterogeneity を分離して測定を行ったという報告である。Prolactin 産生下垂体腫瘍患者の場合、正常者や妊婦の検体に比べて big big Prolactin が上昇していることが明らかにされた。

1. Microplate を用いた抗サイログロブリン (Tg) 抗体の測定(サイロイドテスト, 免疫沈殿法との比較)

坂本 龍則 飛永たまま 岩永 正子

横山 直方 森田 茂樹 山下 俊一

大財 茂 田辺 徹 和泉 元衛

長瀧 重信 (長崎大・一内)

〔対象〕正常者20例, 未治療バセドウ病27例, 慢性甲状腺炎27例. 〔方法〕バセドウ病甲状腺から精製した Tg を, Falcon microplate に 50 μ l (100 μ g/ml) コートした. 10~100倍希釈の検体および標準血清 (Tg affinity column より得た高抗体価 IgG を用いた) を 40 μ l 加えた後, 125 I-抗ヒト IgG 抗体との結合性をみた. 免疫沈殿法は, 125 I-Tg と血清および抗ヒト IgG 抗体を用いた. 〔結果〕本 assay は, (1) バセドウ病で 59%, 慢性甲状腺炎で 66% が異常値を示した. (2) サイロイドテストおよび免疫沈殿法と良好な相関関係が得られた. (3) サイロイドテストで陰性であった (10^2 未満) 30 例のうち, 11例が本 assay で陽性であった. 〔結論〕抗 Tg 抗体測定に, microplate は有用である.

2. Microplate を用いた抗可溶性甲状腺膜抗体の測定

岩永 正子 飛永たまま 坂本 龍則

横山 直方 森田 茂樹 山下 俊一

大財 茂 田辺 徹 和泉 元衛

長龍 重信 (長崎大・一内)

〔対象〕正常者20例, 未治療バセドウ病27例, 慢性甲状腺炎27例, Hashitoxicosis 4例. 〔方法〕バセドウ病甲状腺を細切しホモジネート後, 10 μ g で遠心し, pellet を 1% Lubrol で可溶化した. これを Falcon-microplate に 50 μ l (200 μ g/ml) を Coating し, 10~100 倍希釈の血清 40 μ l を反応させた後, 125 I 抗ヒト IgG 抗体, F (ab') $_2$, 40 μ l を加え, well をカウントした. 〔結果〕正常者では, B/T=2.3 \pm 0.5%, バセドウ病では, 4.1 \pm 1.5% (陽性率 78%), 慢性甲状腺炎では, 3.9 \pm 1.5% (陽性率 68%), Hashitoxicosis では, 6.7 \pm 1.2% (陽性率 100%) であった. またマイクロゾームテストとも弱い相関関係が得られた. 〔結論〕マイクロプレートによる本アッセイは, 微量で高感度な, 抗甲状腺膜抗体の測定が可能であり, 臨床検査に有用と思われる.

3. Microplate を用いた抗マイクロゾーム抗体の測定

飛永たまま 岩永 正子 坂本 龍則

横山 直方 森田 茂樹 山下 俊一

田辺 徹 大財 茂 和泉 元衛

長瀧 重信 (長崎大・一内)

〔対象〕正常者20例, 未治療バセドウ病27例, 慢性甲状腺炎27例. 〔方法〕バセドウ病甲状腺から得られたマイクロゾーム分画 (10 3 ~10 5 g 分画) を 1% Triton X-100 で可溶化した. この可溶性マイクロゾーム分画を, Falcon microplate に 50 μ l (10 μ g/ml) coating した後, 1% BSA でブロックした. 10~100 倍希釈の検体および標準血清 40 μ l を反応させた. 125 I 抗ヒト IgG 抗体 F (ab) $_2$ を加え抗マイクロゾーム抗体を測定した. 〔結果〕正常範囲は, 7.3 μ g/ml 以下であった. バセドウ病では, 82%, 慢性甲状腺炎では 85% が, 異常高値を示した. またマイクロゾームテストとほぼ同様の陽性率であった.